

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収入金、未払金、前払金、前受金、立替金及び預り金を含めることとしている。なお、前期末及び当期末残高は2に記載のとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	1,311,671	1,153,272
立 替 金	0	0
未 払 金	0	251,633
合計	1,311,671	901,639

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
決算日の市場価額等に基づく時価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
減価償却の方法は定率法によっている。
- (3) 土地の評価基準及び評価方法
決算日の時価（路線価格）によっている。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産積立預金	1,709,998,484			1,709,998,484
有 価 証 券	1,238,995,680	202,169,760		1,441,165,440
土 地	58,405,200		4,449,920	53,955,280
建 物	98,266,848		4,050,527	94,216,321
小 計	3,105,666,212	202,169,760	8,500,447	3,299,335,525
特定資産				
施設修理積立預金	38,902,868	5,410,850		44,313,718
助成準備引当預金	32,505,035	28,034,702	23,779,058	36,760,679
小 計	71,407,903	33,445,552	23,779,058	81,074,397
合 計	3,177,074,115	235,615,312	32,279,505	3,380,409,922

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
基本財産積立預金	1,709,998,484	1,533,498,484	176,500,000	0
有 価 証 券	1,441,165,440	1,441,165,440	0	0
土 地	53,955,280	53,955,280	0	0
建 物	94,216,321	92,690,014	1,526,307	0
小 計	3,299,335,525	3,121,309,218	178,026,307	0
特定資産				
施設修理積立預金	44,313,718	0	44,313,718	0
助成準備引当預金	36,760,679	0	36,760,679	0
小 計	81,074,397	0	81,074,397	0
合 計	3,380,409,922	3,121,309,218	259,100,704	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	3,986,931
合 計	3,986,931

5. 固定資産の取得価額・減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	207,261,080	113,044,759	94,216,321
構 築 物	945,000	917,592	27,408
什 器 備 品	3,972,317	3,871,802	100,515
ソ フ ト ウ エ ア	1,905,750	1,272,405	633,345

6. 重要な会計方針の変更

特になし